

東日本鉄道OB会の 皆さまへ

東日本旅客鉄道株式会社
常務取締役

内田 英志



若葉の緑もしいに色濃くなってきました。東日本鉄道OB会の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年6月に常務取締役に就任した内田です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は1992年にJR東日本に入社後、これまで主に運輸車両や投資計画、広報などの業務を経験し、前職は八王子支社長として中央線を軸に多摩エリア、山梨エリアのマネジメントを担当していました。現在は、鉄道事業本部副本部長（運輸車両）および安全企画部を担当しております。これまでの経験を最大限に活かし、皆さまのご期待に応えるべく全力を尽くしてまいります。

はじめに、昨年の輪軸のメンテナンスに関わる事象や、昨年9月と今年3月に連続して発生した東北新幹線「はやぶさ・こまち」の走行中に連結部が外れる事故により、多くのお客さまにご迷惑とご心配をおかけし、鉄道への信頼を揺るがす結果となってしまいました。心よりお詫び申し上げます。東北新幹線の事故については現在も原因究明を継続しておりますが、再発防止を含めしっかりと対策を講じるとともに、今後も安全運行を最優先に、信頼回復に努めてまいります。

JR東日本グループは、「安全」を経営のトッププライオリティとしています。2025年度は「グループ安全計画2028」をさらに進め、各職場において一人ひとりが仕事の本質についてより深く考え理解し、具体的な行動につなげるプロセスを通じ、経営の二軸である「モビリティ」と「生活ソリューション」相互でグループ全体の安全レベルを向上させます。

また、JR東日本グループは広大なモビリティネットワークを保有しており、社会や地域の発展に貢献することができます。私たちの使命は、安全で快適な鉄道サービスを提供し続け、地域社会の発展に貢献することです。2025年度はグループ経営ビジョン「変革2027」の目標達成に向けた取組みをさらに進め、これまで以上に観光資源などの魅力を発信して交流人口を拡大させ、インバウンドのお客さまを東北や上信越エリアへどう誘客するかなど、さらなる収益の拡大をめざします。

今年春のダイヤ改正では、中央快速線・青梅線グリーン車の営業運転や、南武線・常磐緩行線で初めて長編成列車でのワンマン運転を開始しました。引き続き安全をベースに新たな技術を導入するなど構造改革を推進し、生産年齢人口の減少など困難な課題に挑戦し、環境の変化に柔軟に対応していくことでサステナブルな鉄道運営を実現します。

これからもJR東日本グループ社員一同、一丸となって努力してまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。